

別のプロジェクトを参照する

別のプロジェクトを参照し、テーブルを利用する

別のプロジェクトを参照し、そのプロジェクトに保存されているテーブルを使用することができます。参照を利用すると、同一のテーブルを複数のプロジェクトで作成する必要がないため、作業の効率化、ディスク容量の節約につながります。

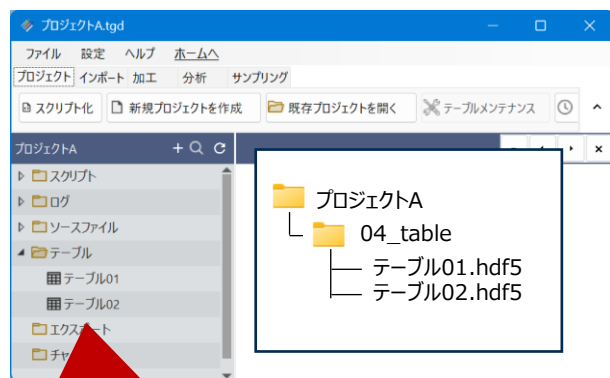
参照先のプロジェクトを「**参照プロジェクト**」といいます。

<プロジェクトCからプロジェクトA・Bを参照した場合>

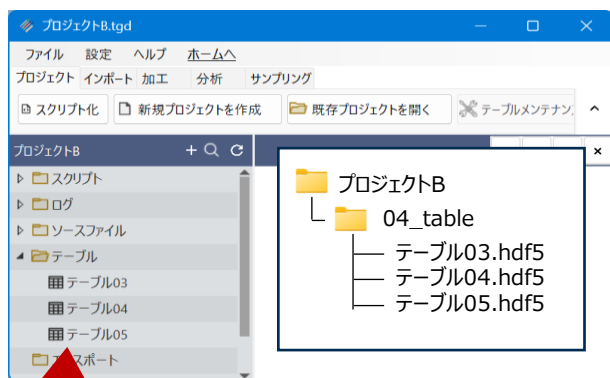
- プロジェクトCのナビゲータに、プロジェクトA・Bのテーブルが表示されます。指定した「**参照名**」で表示用のフォルダが作成されます。表示されるテーブルを「**参照テーブル**」といいます。参照テーブルは、「**参照名: テーブル名**」で表示されます。
- プロジェクトCで、参照テーブルを使用して、《要約》や《結合》などの操作を行うことができます。ただし、テーブルメンテナンスや《新規フィールド追加》などの参照テーブルに変更を加える操作、参照テーブルの削除は行えません。
- 参照テーブルのhdf5ファイルは、プロジェクトCのプロジェクトフォルダには保存されません。
- 参照テーブルで行った操作で作成したテーブルのhdf5ファイルは、プロジェクトCのプロジェクトフォルダに保存されます。
- 参照の設定は、ログに記録されません。
- 参照するプロジェクトは、複数設定できます。
- 参照名の変更や参照の解除は、《参照マネージャー》で行います。

参照先

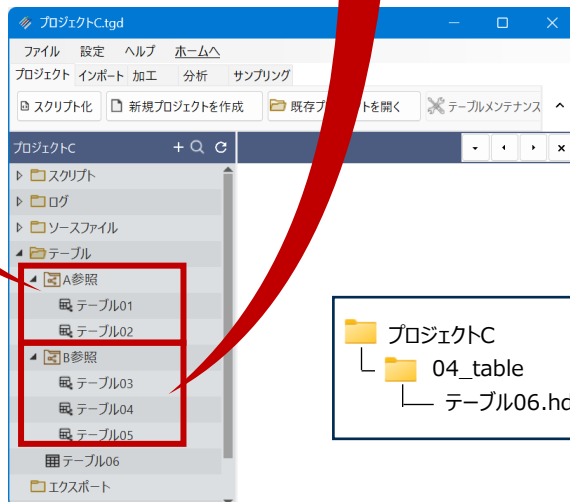
プロジェクトA



プロジェクトB



プロジェクトC



参照名のフォルダごとに、参照テーブルが表示されます。
参照のフォルダは、アイコンが異なります。

- 📁参照のフォルダ
- 📁通常のフォルダ

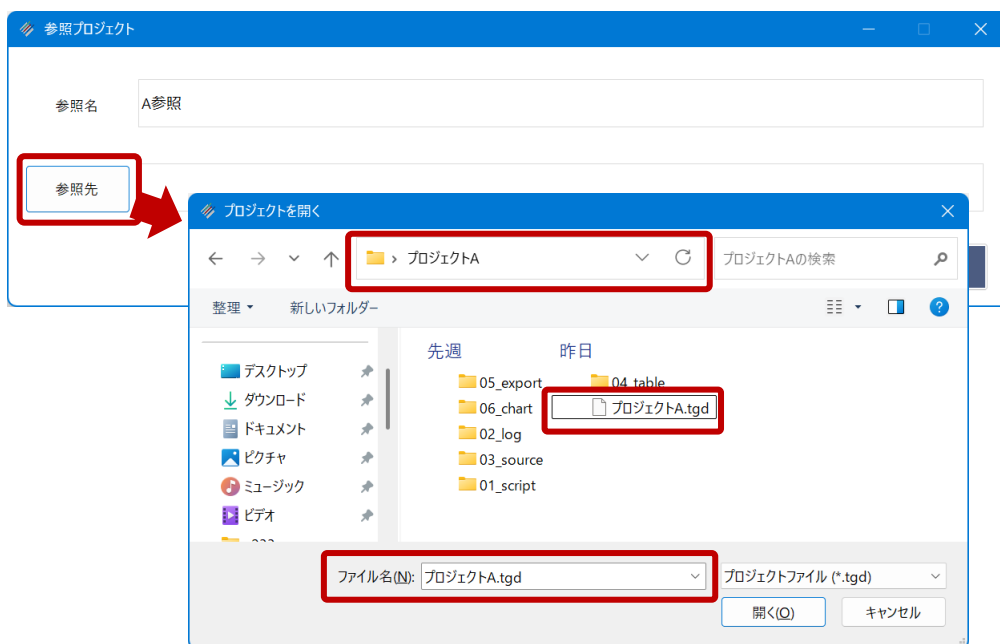
プロジェクトCには、プロジェクトCで独自にインポートしたテーブル、参照テーブルを使用して作成したテーブルのファイルが保存されます。

◇参照を設定する

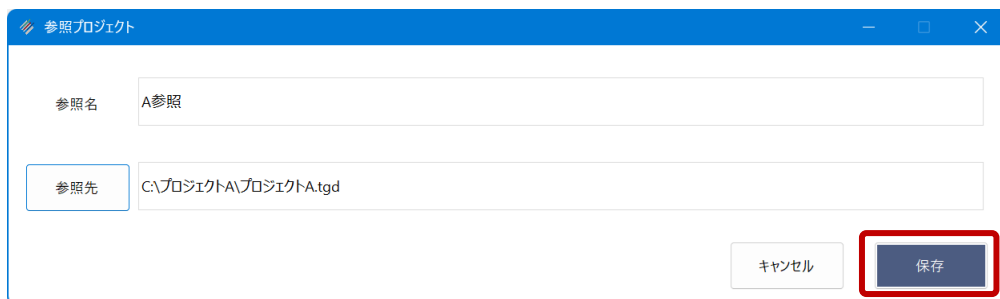
- ①現在のプロジェクトで、メニューの《プロジェクト》-《参照の追加》をクリックします。
- ②「参照名」に参照先のプロジェクトを示す名称を入力します。64文字以内で、分かりやすい名前を入力してください。



- ③「参照先」ボタンをクリックし、「プロジェクトを開く」画面で、参照先のプロジェクトのプロジェクトフォルダを選択し、プロジェクトファイル (*.tgd) を選択します。

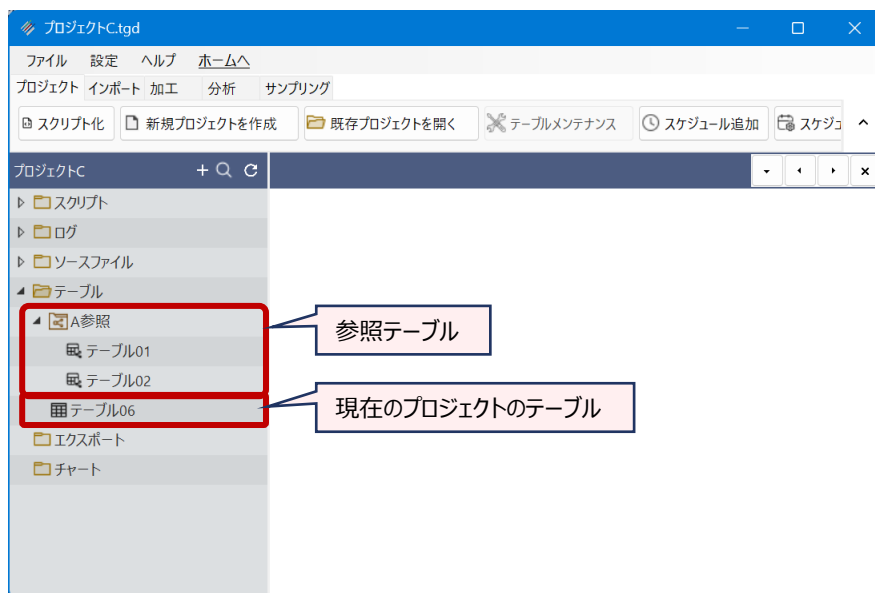


- ④「参照先」に参照するプロジェクトファイルの情報が表示された状態で、《保存》をクリックします。



⇒現在のプロジェクトに、参照先のプロジェクトが追加されました。

- ナビゲータの「テーブル」フォルダに参照名のフォルダが表示され、そのフォルダ内に参照テーブルが表示されます。



- 参照テーブルを開くと、「参照名: テーブル名」の形式で表示され、現在のプロジェクトのテーブルと区別できます。

